



トピックス

2020年8月31日

米流ドラマ：「正義」はどちらに？

米国の各党が全国大会を開催

多くのハリウッド映画では、「善と悪」がはっきり区別されます。米国の政治も、そのような二元論が鮮明になる一方です。問題は、二大政党の双方が、自らが善で相手が悪、と固く信じていることです。

8月後半、各党が4日間にわたる全国大会を開催しました。そして、民主党はバイデン氏、共和党はトランプ氏を大統領候補として正式に指名しました。それ自体は儀式的なものですが、その際のスピーチなどは非常に重要です。ここで双方が表明したのは、やはり、邪悪な敵を倒そうという決意でした。

民主党は希望と団結を前面に

先に開催された民主党大会は、ほぼオンライン方式で行われました。その最終日、バイデン氏は力強い指名受託演説を行い、「私は闇ではなく光の側」と述べたのです。「闇」とはトランプ陣営のことです。

ただし、バイデン氏が多用した言葉は「希望」や「団結」です。人種や所得、支持政党で分断された国に団結を取り戻す、という点は、大会を通じたテーマでした。それは、非白人のハリス氏を副大統領候補に指名したことや、この大会で、複数の共和党員がバイデン氏支持を表明したことに表れています。

バイデン氏の重点施策

政策面では、コロナウイルス対策に加え、環境問題への取組みが注目されます。新エネルギーへの移行過程で何百万人も雇用が創出されるので、気候変動はむしろチャンス、とバイデン氏は言うのです。

また、同氏は「経済の不正義」に言及し、超富裕層や大企業に有利な現行税制の見直しを示唆しました。これは金融市場の懸念材料です。一方、「中国」に触れたのは、今回のスピーチで1回だけでした(医療備品に関し中国依存を脱する旨を主張)。摩擦をおおる発言が一切なかったのは、市場の好材料です。

共和党は礼賛と非難に終始

次に開催された共和党大会は、対照的なものになりました。人が集まる形式も併用されたこの大会では、参加者の偏りが目立ったのです。特に多かったのは、トランプ氏の親族一同によるスピーチです。

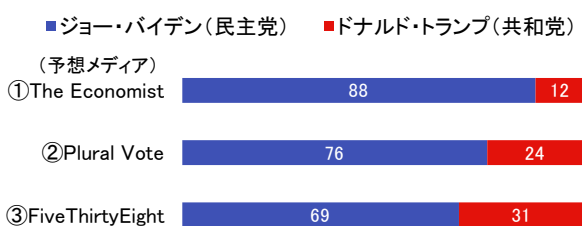
それらの内容は、トランプ氏の実績(コロナウイルス流行前は経済が好調だったことなど)への礼賛と、民主党やバイデン氏への非難に終始しました。バイデン氏は邪悪な「極左」に取り込まれており、もし同氏が大統領になったら犯罪やデモが激化し米国は破滅する、というのがトランプ陣営の主張です。

これは最終回ではない

具体的な政策については、トランプ氏は迫力不足です。4年前の選挙戦での「メキシコとの国境の壁」「中国製品への一律高関税」のような、強烈な印象を与える(良し悪しは別)メッセージが足りません。

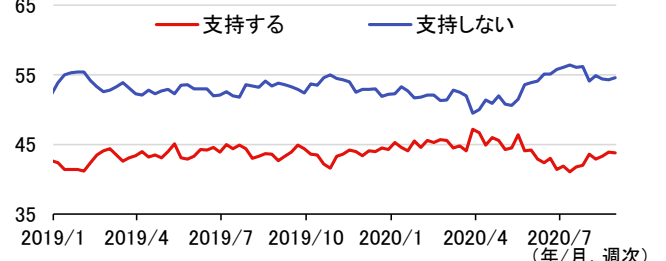
ただ、大統領選の行方はまだ不確かです。バイデン氏優勢とはいえ(図表1)、地方の保守層による危機意識などを背景に、トランプ氏の支持率は下げ止まっているのです(図表2)。いずれにせよ、双方が相手を悪と決めつけている限り、「正義」をめぐる争うドラマは、選挙後も続編が展開されるでしょう。

図表1. 米大統領選における勝利確率 (%)



(注) 最近の世論調査などをもとに、それぞれ独自のモデルで算出したもの
 ①と②は2020年8月30日時点、③は8月28日時点
 (出所) 各メディアより、しんきん投信作成

図表2. トランプ大統領の支持率



(注) 主要世論調査の平均。2020年8月27日まで。なお、大統領選は11月3日
 (出所) Real Clear Politics より、しんきん投信作成

(チーフエコノミスト 辻 佳人)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL: [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、請求目論見書については、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。

【お申込みに際しての留意事項】

■ 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■ 投資信託に係る費用について

（お客様に直接ご負担いただく費用）

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

（保有期間中に間接的にご負担いただく費用）

- ◆ 運用管理費用（信託報酬）・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用（手数料等）の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくお読みください。

- ※「日経平均株価」（日経平均）に関する著作権、知的所有権その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は日経平均株価を継続的に公表する義務を負うものではなく、その誤謬、遅延又は中断に関して責任を負いません。
- ※東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出若しくは公表の方法の変更、TOPIXの算出若しくは公表の停止又はTOPIXの商標の変更若しくは使用の停止を行う権利を有しています。
- ※東証REIT指数は、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など、東証REIT指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。